

「第1回 子宮腺筋症核出術の普及を目指す分科会」のお知らせ

来る平成31年2月2日(土)～2月3日(日)に都市センターホテルで開催される第41回日本産婦人科手術学会において、子宮腺筋症の保存的手術(子宮腺筋症核出術)の普及を目指すための分科会を同事開催させていただきます。

「高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術」は先進医療に認定されて既に13年の年月が経っていますが、未だに実施施設に限られており、多くの患者さんがその恩恵に浴しているとは言えません。今回、三上幹男学術集会長のご高配により、産婦人科手術学会時に、その普及を図るための会を計画させていただきました。

本分科会は、子宮腺筋症の保存的手術に関心のある先生方に、術式の実際をご覧頂くと共に、当該施設に先進医療の認定を取得して頂き、近い将来、子宮腺筋症核出術の保険収載を目指すための会であります。そのためには、この手術が産婦人科医療の中で重要な役割を担っていること、また、社会的にも患者がその普及を求めていること、そして何よりも産婦人科医の関心が高いことをアピールしなければなりません。

是非、多くの先生方にご参集頂き、忌憚のない御意見をお聞きし、まずは先進医療認定施設を増加するようにしたいと考えております。

=====

日時：平成31年2月3日(日) 午後4時15分～5時15分

会場：都市センターホテル第2会場(3階コスモホールⅡ)

演題：当院における子宮腺筋症核出術の現状 -その術式と予後-

座長：平松祐司 岡山大学名誉教授・日本産婦人科手術学会理事長

演者：西田正人 国立病院機構霞ヶ浦医療センター産婦人科・特別診療役、名誉院長

(約30分の講演、その後約30分の討論を予定しています)

日本産婦人科手術学会

理事長 平松祐司